

令和 7 年 6 月 秋 田 市 議 会 定 例 会 代 表 質 問 者 順 序

自 民 党 小 野 寺 誠

秋 水 会 渡 辺 正 宏

フロンティア秋田 小 林 一 夫

公 明 党 武 田 正 子

そうせいと維新 小 松 健

1 市長の政治姿勢について

- (1) 第19代秋田市長に就任した率直な感想はどうか
- (2) 市政を担う上での基本理念はどうか
- (3) 本市の将来都市像についてどのように考えているのか
- (4) 前市長の市政運営 4 期16年をどのように評価しているのか

2 国・県との連携について

- (1) 県選出の国会議員及び新知事との連携をどのように図っていくのか

3 市長公約等について

- (1) 人口30万都市の復活について

- ア 30万都市の復活に向け、具体的にどのような政策を考えているのか

- イ いつまでに目標を達成しようと考えているのか

- (2) 「子育て 3 つの無償化」について

- ア 学校給食費の完全無償化に係る費用は幾らか、また、財源及び実現性についてどのように考えているのか

- イ 子どもの医療費の完全無償化に係る費用は幾らか、また、財源及び実現性についてどのように考えているのか

- ウ 保育料の完全無償化に係る費用は幾らか、また、財源及び実現性についてどのように考えているのか

- (3) 移住・定住の促進について

- ア 移住者の声として低賃金や公共交通の不便さ等が挙げられていることを踏まえ、移住後のミスマッチを防ぐためどのように移住・定住を促進していくのか

- イ 新たな住宅政策について、具体的にどのような取組を考えているのか

- (4) 企業誘致等について

ア 官民連携による新たな制度の具体はどうか

イ 年間20件程度の企業誘致を達成するとしているが、どのような企業を誘致するのか、また、どの程度の雇用を想定しているのか

ウ 外国人を含めた人材確保のため、どのような支援制度を考えているのか

(5) 本市による新電力会社設立と電力の地産地消・家計負担の軽減について

ア 新たに設立する新電力会社とはどのような会社なのか、また、設立時期はいつ頃と考えているのか

イ 新電力会社設立により、どのように家計の負担を軽減していくのか

ウ 本市による新電力会社設立は可能なのか

(6) 観光誘客について

ア インバウンド誘客について、具体的にどのような取組を考えているのか

イ クルーズ船の乗客も含めた観光客の増加に向け、どのように取り組んでいくのか

(7) 第一次産業への支援について

ア 農業の担い手の育成・確保における課題をどのように捉えているのか、また、課題を踏まえ、どのような支援策を考えているのか

(8) 秋田県児童会館について

ア 建て替えの方針は県が示すべきと考えるがどうか

イ 縣市連携で建て替える場合の財源及び時期についてどのように考えているのか

(9) 防災対策の抜本的な見直し・強化について

ア 本市独自の支援制度の具体はどうか

イ 避難所運営などに女性の視点を取り入れるため、女性をリーダーとした防災担当課を設置する考えはないか

(10) 熊対策について

ア 公務員ハンターを採用できるのか、また、採用する場合は、どの

ような身分や業務内容を想定しているのか

(11) 新たなグラウンドゴルフ場の整備について

ア グラウンドゴルフ場の整備には広い土地が必要であるが、整備場所は想定しているのか

イ 整備費及び財源確保についてどのように考えているのか

(12) 外旭川地区まちづくりについて

ア 白紙撤回する前に、議会に報告しなかった理由は何か

イ 同まちづくりはいつまで白紙のままなのか

ウ 同まちづくりの実現を望んでいる各町内会との話合いの場を考えているのか

エ 事業パートナーとの話合いはどのような内容だったのか

(13) スタジアム整備について

ア いつまでに改修または新設を判断するのか、また、整備費用を示す時期はいつか

イ 改修と新設の比較検証を行うに当たり、平成24年に県が行った調査結果をどのように捉えているのか

ウ 騒音や日照権などの問題が懸念されるが、地域住民の理解を得られるのか

エ Jリーグ及びブラウブリッツ秋田との会談で理解を得たとしているが、三者の共通認識となっているのか

(14) 卸売市場の再整備について

ア 再整備手法の見直しについて、いつまでに方針を示すのか、また、今後の整備スケジュールはどうか

イ 卸売市場の余剰地について、スタジアムの整備候補地が八橋運動公園内となり、外旭川地区まちづくり基本計画も白紙とした中で、活用方針をどのように考えているのか

(15) 市立秋田商業高等学校について

ア 今後のハード整備事業を再検討するとしているが、同校の改修について、どのように考えているのか

(16) 財政基盤の構築について

ア 1期目4年間で目指す財政調整基金残高の目標額は幾らか、また、目標達成に向け、どのような取組を行っていくのか

1 組織機構・人事政策について

(1) 組織機構について

ア 現在の企画財政部を、企画部門と財政部門に分離した部局にすべきと考えるがどうか

イ 現在の市民生活部を、行政事務手続業務などを中心とした市民生活部と、地域振興や住民自治活動の支援などを中心とした地域振興部に分離すべきと考えるがどうか

ウ 現在の産業振興部を、農林業を中心とした部局と商工業を中心とした部局に分離すべきと考えるがどうか

(2) 幹部職員の人事配置に当たり、課長級以上の職員にも異動希望調査を行うべきと考えるがどうか

2 本市のまちづくりについて

(1) 本市のまちづくりを、どのように定義づけしようとしているのか

(2) 外旭川地区に新エネルギー特区を申請し、エネルギー開発を目的にしたまちづくりを進める考えはないか

3 スタジアム整備について

(1) 原点に立ち返り、整備の主体を県に担ってもらうよう交渉してはどうか

(2) 改修・新設を問わず、調査の結果、現在の財政状況では負担できない経費がかかると試算された場合、スタジアム整備をどう進めるのか

4 財政等について

(1) 本市の今後の財政の健全性をどのように担保しようとしているのか

(2) 老朽化が進む大型市有施設の建て替えや改修等にどう対応していくのか

(3) より効率的で安全性を重視した資金運用を、人材の確保も含め政策

的に行うべきと考えるかどうか

1 市長の政治姿勢について

(1) 多選の弊害とリーダーとしての資質について

ア 市長は多選による弊害をどのように考えているのか

イ 市長自身は何期目以上を多選と考えているのか、また、自身は多選しないのか

ウ 「リーダーは明確なビジョンを示し、それを市民と共有し、ぶれずに進んでいく、これが最も重要なリーダーの資質である」と述べているが、この点において、自身のリーダーとしての資質をどのように捉えているのか

(2) 「全ての子どもに居場所とチャンス」について

ア 子ども・子育て支援に予算を大きく配分するとしているが、このために他の予算の大幅な見直しはあるのか

イ 給食費の完全無償化をする場合、どれくらいの予算が必要なのか、また、実施に向けたスケジュールについてはどうか

ウ 医療費の完全無償化をする場合、どれくらいの予算が必要なのか、また、実施に向けたスケジュールについてはどうか

エ 保育料の完全無償化をする場合、どれくらいの予算が必要なのか、また、実施に向けたスケジュールについてはどうか

オ 民間フリースクールへの支援の現状と今後の対応について

カ 子ども食堂への支援の現状と今後の対応について

キ 教育クーポン発行の取組方法とメリットについて

(3) 「日本一の若者支援と魅力ある街に」について

ア 市内での就職に対する本市独自の応援金の創設について、どのような仕組みを考えているのか

イ 日本一のスタートアップ支援について、どのような仕組みを考えているのか、また、必要とする予算についてはどうか

ウ 大学生が主役となったまちづくりの実行について、どのような仕組みを考えているのか

(4) 「企業と人を呼び込む「稼げる街」に」について

ア 企業誘致のための官民連携の新たな制度をどのようにつくり、現在の5倍まで企業誘致を増やしていくのか

イ 本市の公共発注・調達に地元企業を最優先としているが、現状の発注状況をどのように認識しているのか、また、その取組をどのように進めていくのか

ウ これまでの観光誘客の取組をどう見直し、観光客倍増を図っていくのか、また、他の市町村にも波及させていきたいとしているが、市長が考える観光都市構想とは何か

(5) 「防災対策の抜本的な見直し・強化を」について

ア 「秋田市独自の支援制度」について、どのような制度を考えているのか、また、いつまでに制度設計するのか

イ 初動体制をどのように見直し、最適化を図っていくのか

ウ 避難指示等の情報を正確かつ迅速に市民に知らせるために、どのような方策を立てていくのか

エ 避難所にトイレ、キッチン、バスを迅速に整えるために、どのような方策を立てていくのか

オ 冬の暖房、夏の冷房、ペットの同行避難の方策をどのように考えているのか

カ 備蓄品の容易な活用のため、備蓄の方法をどのように見直すのか

キ スケジュールや数値目標を明確にするため、地域防災計画をいつまでに見直すのか

(6) 「全世代の暮らしの「安全・安心」を」について

ア 市街地に出没する熊の駆除を含めた今後の対応について

イ 公務員ハンターをどのように採用するのか、また、採用した場合、公務員としてどのような仕事をするようになるのか

ウ 数年以内に交通弱者ゼロにするための方策をどのように考えているのか

エ 介護人材確保のための本市独自の支援をどのように考えているのか

(7) 「迷走するまちづくりに決着を」について

ア 外旭川地区のまちづくりについて、計画を白紙にした上で、県と市、民間事業者で話し合いたいとしているが、どのような協議が必要と考えているのか

イ 外から人、消費、投資を呼び込めるオンリーワンの場所にできるかが開発の是非を決める重要なポイントであるとしているが、オンリーワンの場所にできる可能性があるとした場合には、外旭川地区のまちづくりを進めるのか

ウ 卸売市場の再整備について、建て替えから大規模修繕に切り替えていく考えはあるのか

エ 前市長はスタジアム整備の事業主体を秋田市として県やブラウブリッツ秋田に提案しているが、事業主体についてはどう考えているのか

(8) 事業の再検討や見直し、各種計画について

ア 今年度事業の再検討や見直しについて、どのように考えているのか

イ 次期総合計画の策定に向けた基本的な考え方について

ウ (仮称) 秋田市こども計画の策定に向けた基本的な考え方について

(9) 議会での質問に対する答弁について

ア 質問の項目や内容に沿った分かりやすい答弁への改善について

イ 部局長が答弁に窮した際の市長答弁について

2 物価高騰対策について

(1) 物価高騰に対する今後の対策について

3 教育行政について

(1) 学校の統廃合や廃校舎の利活用について

ア 学校統合の協議において大きな課題となるのは何か、また、その課題にどのように対応してきているのか、さらに、学校統合により

地域の活性化が図られるような施策についてどのように考えているのか

イ 学校統合に当たり、児童生徒の精神的なサポートや、通学、部活動に対する配慮はどのようになされているのか

ウ 廃校舎の有効な利活用は適切になされているのか

エ 今後の売却も含めた廃校舎の積極的な利活用の考え方について

(2) 教員志望者を増やすための対策について

ア 長時間労働、過酷といわれる勤務の実態とその改善について

イ 生きがいを持って働くことができる職場づくりについて

ウ 保護者とのトラブルに係る対応改善について

エ 教員確保のための県との協議について

(3) 中学校部活動の地域移行について

ア 地域移行の現状と地域のスポーツ団体との連携の実態について

イ 保護者の金銭的負担の発生状況について

ウ 部活動顧問の負担軽減の状況について

(4) 学びの多様化学校について

ア 開設の狙いについて

イ これまでの不登校児童生徒に対する支援の枠組みがどのように変わるのか

ウ 既存施設を活用して整備するとしているが、廃校舎を活用する可能性はあるのか

1 市長の政治姿勢について

(1) スタジアムについて

ア A S P スタジアムの改修による整備についても検討するとのことであるが、これまでの調査により、Jリーグの基準を満たすスタジアムの整備は困難であるとの結論が出ているにもかかわらず、改めて改修の可否に係る調査を行う理由は何か

(2) 外旭川地区のまちづくりについて

ア 同地区のまちづくりについて、庁内検討も行わないまま、初登庁日に唐突に白紙撤回を宣言した意図は何か

(3) 陸上風力発電事業における安全性の確保について

ア 市内全ての陸上風力発電事業者に対し、安全管理体制や風車周辺への立入制限等に関するヒアリングを実施したとのことであるが、その結果はどうか

イ このたびの風車ブレードの落下事故により、目視での点検やシステムによる監視では事故の発生を予見できないことも想定されるが、再発防止に向け、国や事業者へどのような要望を行っていくのか

2 子ども・子育て支援について

(1) 市長は、「全ての子どもに居場所とチャンスを」と題し、子ども・子育て支援に関する公約を掲げているが、公約との整合を図るため、第4次秋田市子ども・子育て未来プランを改定する考えはあるのか

(2) 市長は、公約として、民間フリースクールへの支援を掲げているが、当該スクールを利用する児童生徒の保護者に対し、利用料を助成すべきではないか

(3) 発達性読み書き障害（ディスレクシア）について

ア 同障害の早期発見に向けた取組をどのように行っているのか

イ 同障害を持つ子どもの保護者が、情報がないまま子育てに悩んだり、精神論で子どもを追い詰めてしまうことがないように、当該保護

者に対する正しい情報提供と相談体制の構築が必要であると考え
るが、本市ではどのように対応しているのか

ウ 同障害の特性等に関する研修を実施し、早期発見から適切な支援
・指導につなげることができる教員や支援員を養成していくことが
大切とされているが、本市ではどのように取り組んでいるのか

エ 「読み書き対応 T s u k u b a モデル」には、同障害の可能性の
有無を客観的に判断できることや検査結果を基に説明することによ
り、保護者の理解が得られやすいなどのメリットがあることから、
本市でも同様の取組を実施すべきではないか

(4) こども誰でも通園制度について

ア 同制度の実施に当たり、受入れ可能な施設数はどのくらいあるの
か

イ 同制度の円滑な実施に向け、今後、どのように取り組んでいくの
か、また、現時点で考えられる課題とその対応策について、どのよ
うに考えているのか

(5) 児童手当の受給者の家族から、受給者がギャンブル依存などにより、
児童手当を消費してしまうため、受給者を変更してほしいとの申出が
あった場合の対応方法はどうか、また、その対応について、どのよう
に周知していくのか

3 高齢者等の支援について

(1) 身寄りのない高齢者等への対応について

ア 何らかの支援が必要な身寄りのない高齢者をどのように把握して
いるのか、また、現在、何人くらいいるのか

イ 身寄りのない高齢者が亡くなった際の葬儀、遺品整理等について、
どのように対応しているのか

ウ 国では、身寄りのない高齢者等が安心して歳を重ねることができ
る社会をつくるため、民間による支援を受けられない方を対象とし
た総合的な支援パッケージの提供を行うモデル事業を実施する自治
体を募集しているが、本市も当該事業へ応募してはどうか

(2) 終活支援について

ア 相続や遺言、葬儀のことなどを相談できる終活支援窓口の設置が必要であると考えるかどうか

イ 横須賀市で行っているような、生前に緊急連絡先やエンディングノートの保管場所などの終活関連情報を登録し、本人に万が一のことがあった際に、指定した方に情報を開示し、本人の意思の実現を支援する事業を実施すべきと考えるかどうか

4 下水道事業における安全管理について

(1) 八潮市における道路陥没事故の発生に伴い、令和7年度に予定していた下水道管路の法定点検を一部前倒しで実施したとのことであるが、どのように点検を行ったのか、また、その結果はどうか

(2) 国の下水道管路の全国特別重点調査の対象とされている管径2メートル以上かつ平成6年度以前に設置された管路はどれくらいあるのか、また、どのような方法で、いつまでに調査を行う予定なのか

(3) ドローンやAI解析、地中レーダーなどの最新技術を活用した空洞化調査は行っているのか

(4) 高度経済成長期以降に整備された下水道管路について、今後急速に老朽化が進行し、耐用年数を経過した管路の割合が高まることにより、道路陥没が増加することが懸念されるが、本市の認識はどうか

(5) 耐用年数を経過した下水道管路の更新を前倒しで実施すべきではないか

5 学校体育館の環境整備について

(1) 近年の記録的な猛暑への対応など、児童生徒や教職員の体調管理のほか、避難所の機能強化の観点からも学校体育館に空調設備の設置を検討してはどうか

1 市長の政治姿勢について

(1) 市長はどのような政治哲学を持って市政運営に臨むのか、また、理想の自治体リーダー像をどのように認識しているのか

(2) 初登庁後の訓示において職員に示した「市民との対話を重ねること」「変化を恐れないこと」「市として『稼ぐ』意識を持つこと」の3つの視点について

ア 3つの視点には、それぞれどのような考えと目的が込められているのか

イ 職員一人一人が市長の意図を正しくかつ具体的に理解し、高いモチベーションを持って、全庁一丸となって日々改善と挑戦を積み重ねていく新たな組織風土を築いていくため、今後どのように意識の共有を図っていくのか

(3) 本市が優先して取り組むべき課題をどのように認識しているのか

2 公約に掲げる「30万都市の復活」について

(1) 「30万都市復活」の含意は何か、また、市政運営の主要なテーマとする狙いは何か

3 社会増に向けた取組と総合計画について

(1) さきの5月臨時会の市長説明において、「人口減少の克服に向けた第一段階として、社会増への転換を図る」としているが、社会増の達成に向けて展開していく施策は何か

(2) 社会増への転換に向けた取組などの主要施策における沼谷カラーは、次期総合計画にどのように反映されるのか

4 行財政改革の推進について

(1) 本市財政の現況をどのように認識しているのか、また、財政健全化と安定した財政基盤の確立を図るため、今後の行財政運営はいかにあ

るべきと考えているのか

- (2) 「厳しい財政状況を踏まえ、事業について必要な見直しをする」との市長指示を踏まえた事業見直しの対象となる事業や施設、見直すべき事項及び優先順位や実施年度の判断等、事業見直し方針の要点は何か
- (3) 財政ガバナンスの強化・確立を図るため、財政部門を独立させるとともに、財政運営のガイドラインとして「（仮称）財政運営指針」を策定してはどうか
- (4) 個別施設計画の財政運営への反映・連動に向けた取組や、施設総量の抑制に向けた取組等を一元的に掌理するための、新たな公共マネジメント組織を創設してはどうか

5 「対話」と都市内地域分権の運用強化について

- (1) 地域住民の市政への理解と参加意識の高揚を図り、かつ、住民自治と都市内地域分権への関心を高めるため、7つの市民サービスセンターを単位とする「（仮称）市長との対話集会」を開催してはどうか
- (2) 都市内地域分権のガバナンス体制の強化及び明確化を図るため、組織機構の最適化に向けた検討・研究を行ってはどうか
- (3) 地域コミュニティ活動等への支援強化を図るため、住民に対するプッシュ型のサポート活動を担う「（仮称）地域担当官」を各市民サービスセンターに配置してはどうか

6 危機管理について

- (1) 自然災害や事故災害、不祥事案件など、あらゆる事態を想定したリスク管理の徹底を図るとともに、全庁的に危機意識の共有を図る取組を行ってはどうか

7 挑戦する市職員。チャレンジ型プロジェクトチームについて

- (1) 若手職員の政策立案能力や企画力の向上を図るとともに、若手が活躍する、明るく活力ある組織風土を定着させることを目的に、参加や

テーマの選択が自由に行える「（仮称）チャレンジ型プロジェクトチーム」制度を導入してはどうか

8 懸案事項について

(1) 外旭川地区まちづくり事業について

ア まちづくり基本計画を白紙撤回とした理由は何か

イ これまでの事業過程から得た教訓は何か

ウ 今後の方向性について、どのように考えているのか

(2) スタジアムの整備について

ア スタジアム整備に係る市費負担と財源の在り方について、どのように考えているのか

(3) 卸売市場の再整備について

ア 部門別ワーキング部会における、再整備手法の見直しに係る検討状況はどうか

9 「市として『稼ぐ』」から「プラスの循環」への道

(1) 「市として『稼ぐ』」取組として、どのような態様を想定しているのか

(2) 歳入改革の一戦略として、庁内横断型のプロジェクト体制を構築し、グローバルな視点を持って強力に取り組んではどうか

(3) 「プラス循環」都市へのプロセスをどのように描いていくのか

10 産業集積関連施策について

(1) 秋田型の産業集積拠点づくりともいえる、再生可能エネルギー工業団地の整備は、今後どのような手順で進めていくのか

(2) 企業誘致の地域間競争に勝ち抜くための戦略について、どのように考えているのか